

事業実施報告書

- I 「スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの知識を身につける学校」
- II マナーとおもてなしの心で備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 宮津市立栗田中学校 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	栗田中学校全校生徒（男子30名 女子30名 計60名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ 特活（道徳） ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピアンと交流することで、スポーツの価値に触れ、何事にも夢を持ち、挑戦していこうとするたくましい力を育成する。
5 取組内容	【12月4日（月）】オリンピック・パラリンピックとは 全校でDVDを視聴後、各担任より特にパラリンピックについて考えた。 ◎映像資料DVD『リオパラリンピック大会ダイジェスト』視聴 ◎授業用シート『1-1 パラリンピックってなんだろう？』活用 【12月5日（火）】シットイングバレーの実演・体験 各学年、保健体育の授業の中で、シットイングバレーを体験。準備運動にストレッチマットを使用し、股関節を中心としたストレッチを念入りに行った。その上で、実際に競技することを通して、シットイングバレーがより身近なものに感じることができた。 【12月6日（水）】講演会及び実技指導 アテネ・北京オリンピックに出場し、カヌー競技において6位に入賞した金森（旧姓 鈴木）祐美子さんを講師に講演・実技指導を実施 ◎第1部 講演 生い立ち、選手としての体験談・エピソードについて講演し挑戦することの大切さを訴えられた。 ◎第2部 運動に関する実技指導 カヌーに関連した運動を全生徒が体験した。 【12月】生徒感想文交流 各指導や体験で考えたり感じたりしたことをまとめた感想文を交流し合いながら、より自分の生き方や行動の在り方を深めていく。



講演会 「未来を作る大切な『今』」



シットイングバレー



実技指導 カヌー競技トレーニング



栄養学についても教授

6 主な成果	【オリンピック・パラリンピックについて学習して】 2月の冬季オリンピック開催地が12月上旬でも2割程度しか回答できず、また冬季・夏季と分かれていることやパラリンピックについての理解が意外に低いという実態が明らかになり、各担任より話をする中で、オリンピックについての興味・関心が高まった。
(生徒の感想の中から)	【シットイングバレーを体験して】 ・パラリンピックについて全然知らなかったけど、実際にシットイングバレーをやってみて少し理解できたし、オリンピックだけでなくパラリンピックもこれからは注目して見ていきたい。いい機会になった。バレーだけでなく、シットイングバレーもまたやりたい。 ・「お尻を絶対つけていなくてはいけない」というハンデの中、どう動けばいいのか考えてやれてとても楽しかった。「足が自由に動くことがどれだけ大切か」を痛感し、バレー部活動にも参考になった。パラリンピックのレベルの高さに驚き、選手のすごさに感動しました。東京オリンピック・パラリンピックでの日本の選手の活躍がものすごく楽しみです。 【オリンピック選手の講演・実技指導を受けて】 ・大学から始めたカヌーで2回もオリンピックに出場されたことにまず驚いた。いろんなことに興味を持って取り組んでこられたことがカヌーに活かされているのだろう。「興味のあることはどんどんやってください」という言葉が記憶に残った。 ・私は「スポーツ栄養士になる」という夢を持っている。だからカヌー選手を引退されたあと「アスリート食アドバイザー」になられた金村さんから丁寧に質問したことに対して回答していただけてとてもうれしかった。夢を持ち挑戦することの大切さを教えていただきました。夢を実現させたい。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>◎講演だけでなく実技指導もお願いした。金村さんも講演は緊張されていたが、実技指導は伸び伸びとされていた。</p> <p>◎宮津市の全中学生が一堂に集合して講演会を開催できたことは、お互いの交流の場ともなり、よい刺激を受け合った。</p> <p>◎講師の研究されていることと関連のある生徒の作文を事前に送ることで、より生徒の思いに沿った講演となった。</p>
8 主な課題等	<p>◎講演していただく方を当初はパラリンピック出場の方で調整していたので、その準備をしていたが、都合で変更になり、当初の計画どおりにはいかなかった。</p> <p>◎講師の方との打ち合わせが余裕のないものであった。</p> <p>◎講演の時間設定で、後半の質問コーナーの方がより盛り上がり、時間が足らなくなってしまったのが残念であった。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>今年度予定をしていたパラリンピック出場の選手からの講演会を、できれば来年度実現していきたいと考えている。</p>



平成二十九年十二月七日「京都新聞」掲載

「興味ある子どもさんチャレンジ」

元カヌー五輪代表 金村さん 高津中で講演

金村さんは、カヌー五輪代表として、1964年東京オリンピックに出場し、男子カヌー500メートルで銅メダルを獲得した。その後、カヌー界を引退し、現在は宮津市立高津中学校で教員として勤務している。講演では、カヌー競技の魅力や、オリンピック出場までの経験、そして教員としての活動について話した。金村さんは、子どもたちに夢を叶えるためのサポートを大切にし、子どもたちの成長を応援している。講演会は大変盛り上がった。金村さんの講演を聞いた子どもたちは、カヌー競技に興味を持ち、夢を叶えるための努力を怠らないと決意した。金村さんの講演は、子どもたちに大きな励みとなった。